日本航空 OB 乗員
有志の会ニュース

2014. 02. 21

No.14-020

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

第２章 第１－１

本来の目的を見失い、
人員削減を自己目的化してしまった
地裁判決

高裁 最終準備書面シリーズ４

もともと人員削減の必要性は存在しない

地裁判決は、
…「全ての雇用が失われる破綻的清算を回避し、利害関係人の損失の分担の上で成立した更生計画の要請として、事業規模に応じた人員規模とするために、人員を削減する必要性があったと認めることができる。」と判示している。

しかし、本件整理解雇時点で既に更生計画の定めた「事業規模に応じた人員規模」は実現しており、人員を削減する必要性がなかったことは、…詳細に述べたところである。

更生計画の本来の目的は、　継続的に利益の出せる経営体制の実現

地裁判決は、
「…本件更生計画は、一般更生債権の８７．５％の免除を受け、株主に対してはいわゆる１００％減資を行う等利害関係人の権利変更について定められ、その利益（裏返しとしての損失）を調整した上で成立したものであり…」「一時的な更生計画を上回る営業利益を計上したからといって、又は人件費の抑制を行うからといって、事業規模に見合わない人員を抱えることは、全ての雇用が失われることにもなる破綻的清算を回避し、利害関係人の損失の分担の上で成立した更生計画に沿うものではないし、…」とする。

しかし…本件更生計画及びその基礎となるとする事業計画である「ＪＡＬグループ再生の方向性について」等において…、費用削減のために「事業規模を縮小」するとしたもので（あり）そして、JAL は、（その）一内容として人員削減施策を策定したとしている。…（そして、その）目的は、「継続的に利益の出せる筋肉質な経営体制の実現」なのであるから、人員削減の必要性は…業績とは無関係ということは決してないのである。

もともと他社よりも低い人件費を対策に求めるのは誤り

また、…二次破綻の可能性について言えば、財務状況、業績が重要であることはより当然のことである。

控訴人らは、JAL の経営窮境原因は、関連事業への無謀な投資による損失等に由

来するものであり、もともと控訴人らの人件費コストは全日空との対比で見ても低廉なもので、破綻原因とそれへの対策を人件費に求めることに誤りがある

人員削減それ自体を自己目的化してしまった地裁判決

地裁判決は、こうした厳然たる客観的事実を看過して、あるいは不当にも無視して、人員削減を「人件費削減の手段」としてではなく、人員削減それ自体を「更生計画の目的」であるとして、人員削減を自己目的化してしまったのである。

■タイトルは、世話人による

■理解しやすくするために「原判決」を「地裁判決」に、「原審」を「地裁」に、「被控訴人」を「JAL」に置き換えました

■**「控訴人」は地裁における「原告」です**

2014年もこれまで同様、カンパ及び活動への参加を

お願いいたします

カンパ宛先等の情報

http://jalfltcrewob.web.fc2.com/kampa.htm

今後の日程

5月　15日（木）

控訴審　客室乗務員判決

東京高裁　101号法廷

13時30分より

5月　19日（月）

不当労働行為裁判

東京地裁　527号法廷

13時10分より

6月　5日（木）

控訴審　パイロット 判決

東京高裁　101号法廷

13時30分より